

広報 らくじゅ

— 第 17 号 —



発行：社会福祉法人楽寿会
 〒421-2115 静岡県静岡市葵区与左衛門新田74-6
 TEL (054) 296-1111(代表) / FAX (054) 296-1113
 URL <http://www.rakuju.or.jp>



楽寿の園高齢者総合福祉エリア

認知症 も予防する——静岡市運動器機能向上事業 『しぞ〜かでん伝体操教室』が好評です!!



オレンジの重り(負荷)をつけ、のんびりゆっくり筋力UP!



作業療法士によるインテリア作り



看護師・認知症ケア専門士による“認知症予防の豆知識”

～ 意欲 笑顔 力を引き出す! ～

楽寿会は、創立から41年を掛け介護予防や自立支援を理念に掲げ“可能な限り住み慣れた地域で”のキャッチフレーズとともに、自立した日常生活の支援が包括的に確保されるよう今まで様々な活動を続けてきました。その一環として市より運動器機能向上事業の委託を受け、足久保ケアサポートセンター楽寿で実施している介護予防教室「しぞ〜かでん伝体操教室」は今年で10年目を迎え、延べ約330人の方が修了されています。

この教室は、生活機能に低下がみられる高齢者に対して、運動器の機能向上・認知症予防・閉じこもり予防の視点から、看護師・理学療法士・作業療法士・認知症ケア専門士・音楽療法士・歯科衛生士・管理栄養士・精神保健福祉士など専門スタッフによる介護予防メニューを提供します。誰もが気軽にできる体操と笑い声が絶えないグループ交流を通じて、生きがいづくり、自己実現の場を目指し地域のみなさんをお迎えしています。

静岡市
委託事業

運動器機能向上事業 しぞ〜かでん伝体操教室



足久保ケアサポートセンター楽寿
1階が会場です



開催日の黄色い旗が目印です



誰でも簡単に体操ができます

運動器機能向上事業は、要介護認定を受けていない65歳以上の方を対象に行われる事業です。「自分らしく、いきいきと普段の生活を楽しんで頂く」ことを目的に開催しています。毎回看護師による健康チェックを始めとし、「しぞ〜かでん伝体操」を中心に、「口腔体操」「指体操」「豆知識」の基本プログラムに加え、楽寿会独自のプログラムを『看護師』『理学療法士』『作業療法士』『認知症ケア専門士』『管理栄養士』『歯科衛生士』『音楽療法士』『精神保健福祉士』などの専門職が各々の専門性を活かした方法で展開し、皆様の心身の健康のサポートをしています。

◆ 教室のプログラム

基本メニューと施設オリジナルメニューを組み合わせ、みなさんの介護予防をトータルにお手伝いします！

基本メニュー

体力測定(初回と最終回のみ)・看護師による問診(血圧測定などの健康チェック)・しぞ〜かでん伝体操・ハピースマイル体操・指体操

施設オリジナルメニュー

『“頭”の体操』(認知症予防)・『音楽活動』・『インテリアづくり』(作業療法)、『食生活で気を付けたいこと』・『健康なお口を目指しましょう』『生活、健康に活かす豆知識』など



看護師による問診(健康チェック)



歯科衛生士による唾液腺マッサージ



自然とおだやかな笑顔に



送迎いたします

◆ 参加について

参加資格：65歳以上で要支援の認定を受けていて、介護予防サービスを受けていない方。

(上記以外の方も参加できる場合があります。お気軽にご相談ください。)

参加費：無料(調理や作業活動は、材料費200円程度を徴収させていただく場合があります。)

送迎：往復200円でご自宅まで送迎いたします。

特集

全国第1号の認知症デイサービス(第2美和の家) ここから介護保険が始まった!

～ケアパッケージ(ケアプラン)作成のヒントがここに蘇る～

現在、静岡市にデイサービスが301ヶ所、全国では約41,600ヶ所あります。その内地域密着型認知症対応型デイサービスは2,484ヶ所整備されており、在宅で介護されている家族の介護負担の軽減に寄与すると共に、利用者の認知症状の安定などに成果をあげています。一方、国はエイジング・イン・プレイスの理念のもと、たとえ認知症があっても様々な介護・福祉・医療サービスに加え、地域住民の支え合いも含め、社会資源のネットワークを活用して在宅生活を可能とするための地域包括ケアシステムの構築を目指しています。今、何故こうした施策が進められているのか、現在メディアでも大変ご活躍されている、淑徳大学総合福祉学部の結城先生をお招きし、楽寿会の認知症対策の歴史からこれらの方向性を探ります。



教授

結城
康博

[Profile]

淑徳大学総合福祉学部 教授
(社会保障論 社会福祉学)
淑徳大学社会福祉学部卒業
法政大学大学院修了(経済学修士 政治学博士)
東京都北区 新宿区勤務
(介護職・地域包括支援センター)
社会保障審議会介護保険部会委員を務める

◆著書

『在宅介護―「自分で学ぶ」視点から』 岩波新書
『日本の介護システム―政策決定過程と現場
ニーズの分析』 講談社新書
『孤独のリアル』 講談社新書、他著書多数



理事長

有馬
良建

[Profile]

社会福祉法人楽寿会 理事長
楽寿の園園長
ケアハウスサンライフらくじゅ施設長
淑徳大学大学院社会学研究科 社会福祉学専攻
博士前期課程修了(社会福祉学修士)
静岡福祉情報短期大学 介護福祉学科 教授
静岡福祉大学 社会福祉学部福祉心理学科 教授
学校法人 大乘淑徳学園評議員
静岡市議会議員・静岡県議会議員

◆著書

『新介護システムへの出発』 医歯薬出版
『ケアハウスと介護保険』 医歯薬出版 他多数

～すべてはここから始まった 認知症対策の系譜をたどる～

(有馬理事長) 静岡県の単独事業として、昭和61年施設内託児所を少子化で対象者がいなくなったため、これを改築し、高齢者介護ホーム(第1美和の家)(現在は老朽化のため解体されています。)を県内に第1号として創設しました。これは、楽寿会創立者である有馬孝子現会長が県の当時の民生部長に、託児所がある様に認知症の宅老所があっても良いのではないかと提言をし、それが取り入れられ、県の単独事業として開設されたものであります。その後、当時の厚生省の課長が楽寿会の高齢者介護ホームを視察され、これを是非国の制度にしたいということで、当時の認知症専用デイサービス、いわゆるデイサービスE型(現第2美和の家)として国の制度になりました。その後、2000年の介護保険制度の導入によって、楽寿会が全国初で行った高齢者介護ホームは、現在の地域密着型認知症対応型通所介護へとつながったのです。認知症デイサービスの歴史的系譜をたどると、正に楽寿会が実施した第1美和の家から受け継がれた第2美和の家に、現在全国に展開している認知症デイサービスの原点をみることができます。いわば認知症デイサービスの発祥の地といえます。それでは、昭和60年に開設した痴呆性(現 認知症)老人生活指導ホームとの連携からその成果を検証したいと思います。

楽寿会からの提言

◇痴呆性(現 認知症)老人生活指導ホームの実績を振り返る◇

(有馬理事長) 楽寿会の認知症対策への取り組みの歴史は長く、楽寿会創立期41年前に遡ります。



特に昭和60年3月には、静岡県の単独事業として静岡市からも補助を受け痴呆性(現 認知症)老人生活指導ホーム(定員4名)を建設しました。これは在宅の認知症の方に3週間入所して頂き問題行動や生活状況を観察し、個々の症状に合った介護方法や在宅サービスの利用方法を家族に指導することにより、認知症の方であっても在宅介護を可能にさせることを目的とした事業として成果をあげました。しかし、残念ながら2000年に介護保険制度が始まりこの事業は廃止されています。

(結城教授) この家族への指導ホームはとても良い事業だと思いますが、事業が廃止となったのは残念ですね。このホームではどういったスタッフの方が携わっていたのですか。

(有馬理事長) 日頃の観察は介護スタッフが行ない、その記録をもとに3週間後に精神科医が本人と家族と面接し、介護方法等を指導書に示して指導していました。その結果、家族は楽寿会が県に提案して実現した宅老所で日中預け、夜だけ併設特養を利用してお泊り頂けるナイトケアを組み合わせると、丸1日お預かりすることが出来ますので家族の介護負担も軽減されるわけです。こうした在宅サービスのパッケージの利用につなげてまいりました。



当時の痴呆性老人生活指導ホーム全景



居室(洋室)



居室(和室)

(結城教授) 認知症の方は徘徊をしたりしますから、特に共働きをしている家族は家でお世話をするのがとても大変ですからね。良い事業だと思います。しかし、楽寿会が静岡県に提言して、全国で初めて高齢者介護ホームができたことは素晴らしいことですね。日中だけでも利用できれば家族は助かったでしょうね。

(有馬理事長) ここではレクリエーションをしたり、歌を歌ったり、交流をしたり、かなり良い意味で疲労しますので夜の徘徊も無くなり、家族を起すことなくぐっすり眠れるようになったという成果を上げています。この高齢者介護ホームが新たな在宅福祉サービスのメニューとして位置付けられたわけですが、その後その他のホームヘルプサービス(現 訪問介護)や、ショートステイ、在宅入浴サービス、宅配食事サービス、また今は事業としてはありませんが、当時は夜だけお預かりするナイトケア、中期的にお預かりするミドルステイといった、多品目メニューを在宅介護支援センター(当時)が調整してケアパッケージを作成し、在宅介護を飛躍的に発展させたのです。これが後の介護保険制度における在宅ケアプランのヒントとなり、我が国の制度政策立案に大きな影響を与えてきました。



和室



ディールーム



◀当時の高齢者介護ホーム「第1美和の家」玄関

(結城教授) 楽寿会が提言した県の高齢者介護ホームが、今度は国の事業であるデイサービスE型になったという
ことですが、現場の発想が県と国の事業に制度化され、更に今日の介護保険制度の地域密着型認知症



認知症デイサービスの原点「第2美和の家」

対応型通所介護につながっていった
ということ、本当に素晴らしい
ことですね。又、こうした在宅のメ
ニューを組み合わせることで今日のケア
プランになっていったことも良くわ
かりました。

(有馬理事長) こうした認知症対策から在宅ケアプラン誕生に大きな影響を与えた楽寿会の取り組みの歴史を政策的
にまとめたものが、私の著書「新介護システムへの出発」(1995年医歯薬出版)、「ケアハウスと介護保
険」(2000年医歯薬出版)等に著されています。また、日本で初めて在宅ケアパッケージ(現 在宅ケア
プラン)の作成方法を映像で紹介した「楽寿の園在宅福祉'92」に示されていますのでご紹介致します。

(結城教授) 今日は楽寿会の認知症対策の歴史をお伺い
し、日本の認知症デイサービスの原点を見学
できて大変参考になりました。また、先ほどお
伺った地域包括ケアシステムもこうした社会
資源を活用すると共に地域の住民の方々と連
携して認知症になっても安心して過ごせる地
域社会を是非作っていきたいと思いますね。



1995(平成7年)におこなわれた出版記念の会

(有馬理事長) 地域包括ケアシステムについては、前回の「広
報らくじゅ」の特集で、ケアハウス「サンライフ
らくじゅ」(全国第1号)から「地域包括ケアシ
ステムの源流を探って」でご紹介していますが、
こうした認知症対策への取り組みの視点から
も貢献できればと思います。現在、当時のデ
イサービスE型の施設は、介護保険制度の導入
により地域密着型認知症対応型通所介護(定
員10名)として事業を行っていますが、来年度
以降、老朽化により新しく近隣に建て直すことを予定しています。なお、今
の建物は日本第1号の認知症デイサービスです
ので保存することと致しました。



出版記念の会には多くの人が集いました。



「第2美和の家」の前で

(結城教授) 楽寿会への期待は今
後も大きいと思います。
是非頑張ってください。

(有馬理事長) 本日は先生には大変
お忙しい中、ご視察
頂きまして有難うご
ざいました。先生の
一層のご活躍をご期
待申し上げます。



1992(平成4)年国を
はじめ全国の地方自治体
の参考となった『楽寿の
園在宅福祉'92』

介護老人福祉施設 楽寿の園

楽寿の園は、高齢者総合福祉エリアの基幹施設であり、アカデミックで診療所を併設した最新鋭の高機能・高規格特養です。楽寿の園では、高齢者への尊厳を理念とし、優しさの限りを尽くして、お一人おひとりの自己実現の為、個別の施設サービス計画に基づく最善の介護福祉サービスの提供に努めています。ご利用者の皆様にはゆったりとした癒しの空間で、心豊かな生活をお送りいただき、高い専門性をもった介護、医療、福祉のスペシャリストがご利用者様の自立のお手伝いをいたします。安倍川のほとりの豊かな自然を眺めながら、和やかなひとときをお過ごしいただいています。



本館中央ホール



楽寿の園診療所に設置されているCT

認知症への取り組み

I. 認知症の現状

厚生労働省によると2014年9月に於いて65歳以上の高齢者は3,296万人であり、認知症高齢者は462万人と発表されています。これは人口の25.9%が65歳以上の高齢者であり、5人に1人が認知症に罹患している計算となっています。さらに、いわゆる団塊世代が75歳以上となる2025年には現状の1.5倍となる700万人を超えるとの推計も発表され、軽度認知症の人数も含めると、65歳以上の3人に1人が認知症高齢者とその予備軍となるとされています。これに対応するため、様々な認知症への対策が進められているところです。

当施設では、認知症に対して認知症ケア専門士を配置し、認知症ケア学会より最新の情報を得て、認知症の方に対して健康で安全かつ心理的安定を保ちつつ、個性や能力を発揮でき、継続的な生活を送ることが出来る様専門的な援助に努めております。

II. 認知症とは

認知症とは、脳の中に病的変化が起こって生じる知的な働きの低下です。認知症は記憶する力、思い出す力、今の時と場所や蓄えた知識と照合して判断や行動に結び付けていく一連の知的な働きが次第に落ちて自立した生活が出来なくなっていく状態です。

III. 施設での対応

当施設では、ご利用者様の多くに認知症が見られます。その中でも感情的変化や精神的言動がみられ、常に見守りが必要な方は専門のフロアに入所して頂いています。

認知症による心理、行動症状（BPSD）は、その方が不安感や緊張、イライラ感、悲しみを体験しており、様々な症状は何かを訴え伝えようとしている試みであると捉え、そのメッセージをキャッチし理解する援助をすることで、その人らしさを維持して頂けるように努めています。

認知症の方は、身体を動かし太陽光を間接的にでも浴びることで「覚醒と睡眠のリズムを正すことができる」と言われています。そのため、日中はレクリエーションやリハビリ、音楽療法、散歩等を行い、夜間に良く眠ることで、規則的な日々と生活リズムを大切に過ごして頂き、生活の質の向上に努めています。



レクリエーションで脳に心地良い活性を促します。



認知症ケア専門士による入所者の心理状態観察。

利用料金について

当施設の介護保険適用部分のサービスについて、ご利用者様に負担して頂く利用料金は、国の制度に基づき原則として「基本料金の1割または2割」、「当施設が定めた食費及び居住費」の負担額となっています。その他、特別な食事の提供に要する費用、理美容代、その他の日常生活において個別に必要とされるものの実費（日常生活費）は各自でご負担頂きます。例えば、要介護3の人が介護老人福祉施設楽寿の園に入所した場合、1ヶ月の自己負担の目安はおよそ次のとおりです。 ※この他に日常生活費（実費）が必要です。

◎多床室を利用した場合

(単位:円)

利用者負担段階	施設サービス費(1割)	施設サービス費(2割)	居住費	食費	合計(1割)	合計(2割)
1	15,000		0	10,000	25,000	
2	25,372		11,300	12,000	48,672	
3	25,372		11,300	20,000	56,672	
4	25,372	50,744	25,550	47,500	98,422	123,794

※所得の低い方については、利用者負担段階により「負担限度額」が適用されますので、食費と居住費が軽減されます。また更に、「社会福祉法人の減免」の対象者として認定されると、料金の一部を楽寿の園と市町村で負担しますので、どなたでも安心してご利用いただけます。

◎従来型個室を利用した場合

(単位:円)

利用者負担段階	施設サービス費(1割)	施設サービス費(2割)	居住費	食費	合計(1割)	合計(2割)
1	15,000		10,000	10,000	35,000	
2	25,372		13,000	12,000	50,372	
3	25,372		25,000	20,000	70,372	
4	25,372	50,744	35,000	47,500	107,872	133,244

※看取り介護を行った場合には、死亡日1,280単位、死亡日の前日、前々日680単位、死亡日以前4～30日は、1日につき144単位（1単位10.27円）が加算されます。

◎ユニット型個室を利用した場合

(単位:円)

利用者負担段階	施設サービス費(1割)	施設サービス費(2割)	居住費	食費	合計(1割)	合計(2割)
1	15,000		25,000	10,000	50,000	
2	28,780		25,000	12,000	65,780	
3	28,780		40,000	20,000	88,780	
4	28,780	57,560	60,000	47,500	136,280	165,060

※看取り介護についても、居室移動をした場合は、移動後の居室の居住費を負担していただきます。

短期入所生活介護(ショートステイ)

ご自宅でお年寄りの介護にあたるご家族様の介護疲れ等ご負担を少しでも軽減して頂く為に、短期間入所をしていただき、ご家族様に代わって介護いたします。ご希望やご不明な点につきましては、どうぞお気軽に楽寿の園までお問い合わせください。

☆☆☆ご利用者のご家族様より、ショートステイ及びデイサービスをご利用いただいたの感想を頂戴いたしましたので、ご紹介させていただきます。

●『ご家族様の声』(サービス利用で充実した毎日)

楽寿の園に母がお世話になって今年で8年になります。

父が平成7年に他界し、母は一人暮らしをしていました。平成20年2月、母は転倒し入院しました。「左大腿骨骨折」手術、退院後すぐリハビリ病院に入院し、厳しいリハビリにも耐えて杖をつけて歩けるまでに回復し、3ヶ月後退院しました。母は頑張り屋さんで強い人ですが、一人暮らしは無理なので私の家で同居することになりました。

その後、ケアマネジャーさんのお誘いで、デイサービスを利用することにしました。初めて参加した日、帰宅後の感想の「疲れましたが楽しかったよ!!」にホッとしたことを思い出します。

その頃、主人は単身赴任で、横浜に住んでいました。私は月一回、主人の所に行く為、ショートステイも利用することにしました。今は主人も退職し、3人で暮らしています。

デイサービスは、月・水・金の利用で、ほとんど休むことなく元気で楽しく過ごしています。ショートステイは、月2回、2泊3日利用しています。ショートステイに行く日「お友達が待っているよ!!」と笑顔で出掛けます。

入所の方とお友達になり、話をしたり、フロアー内を散歩したり、ゲームなどにも参加し、穏やかに過ごしている様です。「楽寿の園に通っていなかったら、私はきっとボケてるね。」と母が言いました。本当にその通りだと思います。

いろいろな行事に参加し(慰問・工作・レクリエーション・陶芸教室・カラオケ・映画鑑賞他)などなど沢山計画立案して下さり、健康面にもきめ細かく指導して下さる様子がお便りなどで確認出来ます。

ケアマネジャーさん・介護士さん・看護師さん・リハビリの先生、その他スタッフの皆様大変御世話になり感謝の気持ち一杯です。母だけでなく、家族のこともアドバイスして下さるお心遣いが何よりも嬉しく頭が下がります。

母は現在96才です。100才になる年は、「東京オリンピック」が開催されます。テレビを観ながら、日本の選手を応援する日を夢見ています。きっと夢は実現できると信じています。楽寿の園で、一緒に過ごして下さるお友達の皆様感謝するとともに、職員の関係者の皆様、いつも安心と安全をありがとうございます。これからもどうぞよろしく願いいたします。



宇佐美 孝子 様

ケアハウス サンライフらくじゅ



全国第1号のモデル事業として創設された、26年の歴史ある特別養護老人ホーム楽寿の園併設型のケアハウスです。60歳以上の方で、日々の生活に不安があり様々な理由から炊事ができない程度の方が入居できます。

サンライフらくじゅでは、プライバシーが守られた居住空間の中で、ご自身の生活を大切にしながら安心安全な毎日を送って頂けます。

— お元気な今、将来を見据えて入居されるのに、ふさわしい住まいです —

サンライフらくじゅ独自の特色

- ◆入居一時金はありません。敷金30万円（夫婦の場合50万）※退居時返金あり
月々の利用料も約7万円～10万円程度で経済的負担が少ないです。
- ◆楽寿の園高齢者総合福祉エリアの中に位置し、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される、地域包括ケアシステムに機能できるよう、個々にあった在宅福祉サービスや医療を適切に、ご利用頂けます。
- ◆防災に力を入れ災害時においても、安心してお住まい頂ける環境を維持する努力をしています。

サービスの質を高めるために

サンライフらくじゅでは、施設長・副施設長・生活相談員・ケアマネジャー・主任ヘルパー・看護師・管理栄養士などが出席し、「入居者との話し合い」や「ケース検討会」を行う事により、ご入居者の皆様への更なるサービスの質の向上を図っています。

◆いきいきした毎日を送って頂くために、専門職が関わりを持ちます



専門職が集まり、ご入居者一人ひとりの生活支援について検討します。



生活に生きる体づくりと介護予防のためのリハビリです。



音楽療法により心身の健康の回復向上を図ります。

◆気持ちをより豊かにするために、様々なお楽しみを企画しております



桜鑑賞のドライブ!
桜を追いかけて遠出をしました。



清々しい新緑の中、心地良い風を感じながらの昼食会。



秋空のもと盛大な運動会。
リハビリの成果を発揮します。

介護老人保健施設 楽寿

介護老人保健施設楽寿は、病状安定期にある方、認知症で家庭での介護が難しい方等を対象に、医師による健康管理、リハビリテーション、レクリエーション、食事・入浴等の看護介護サービスなど、家庭での生活を可能にする為の各種サービスを提供します。楽寿の園高齢者総合福祉エリアの各施設、地域の行政、医療機関等との密接な連携により、お年寄りの状態に沿った適切な介護の調整を図ります。また、ご本人様やご家族様の相談に応じ、様々な情報を提供するとともに、退所後の万全なアフターケア体制を整えています。



利用料金について

例えば… 要介護3の人が介護老人保健施設楽寿に入所した場合、1ヶ月の自己負担の目安は国の制度に基づきおおよ次のとおりです。 ※この他、日常生活費（実費）が必要です。

◎多床室を利用した場合

(単位:円)

利用者負担段階	施設サービス費(1割)	施設サービス費(2割)	居 住 費	食 費	合 計(1割)	合 計(2割)
2	28,770		11,000	12,000	51,770	
3	28,770		11,000	20,000	59,770	
4	28,770	57,510	11,000	48,000	87,770	116,510

◎従来型個室を利用した場合

(単位:円)

利用者負担段階	施設サービス費(1割)	施設サービス費(2割)	居 住 費	食 費	合 計(1割)	合 計(2割)
2	26,430		15,000	12,000	53,430	
3	26,430		40,000	20,000	86,430	
4	26,430	52,830	50,000	48,000	124,430	150,830

※介護保険自己負担分には、基本サービス料、夜勤職員配置加算、サービス提供体制加算、栄養マネジメント加算が含まれています。

※所得の低い方については、利用者負担段階に応じた「負担限度額」が定められており、居住費・食事の負担が軽減されます。

※二人部屋、個室を希望される場合、室料をお支払い頂きます。

※短期集中リハビリ実施加算は、入所日から起算して3カ月以内で1日につき240単位（1単位10.27円）

通所リハビリテーション

◆生き活きとした在宅生活が継続できるよう支援しています

通所リハビリテーション（定員40名）では、施設で送迎を行い、居宅で介護を必要とする方が出来るだけ能力に応じ自立した日常生活が営めるように、ご利用者お一人おひとりの状態や目標に合わせたサービスを行います。理学療法士、作業療法士による個別リハビリテーションでは、ご利用者の身体機能に合わせたリハビリテーションプログラムを作成し、実施しています。

☆☆☆今回、通所リハビリテーションをご利用いただいているご利用者より感想を頂きましたので、ご紹介させていただきます。



専門のリハビリ職員がお一人おひとりの身体状況に合ったプログラムを作成し、効果的に取り組んでいただいております。

● 『ご利用者の声』



大石 せつこ 様

平成27年2月から利用しています。歩くときに右足が上がりやすく、歩行訓練や機械を使った筋力トレーニングをしています。同年代の友達も増え、リハビリもすごく楽しいです。娘からは楽寿に通ってから、車の乗り降りがスムーズになったと言われます。2,3日行かないと歩くのが大変に感じるので、休まず通いたいと思っています。今より足を上げて歩けるようになり、家のことを出来るように、これからも頑張りたいと思います。



グループホーム らくじゅの家



グループホーム らくじゅの家(2F)



毎月ドライブに出掛け四季の変化を楽しんでいます。

6月には満開の花菖蒲を楽しみました。

「らくじゅの家」の定員は6名です。一つの食卓を囲み、温かく和やかな家庭的雰囲気大切にしています。能力に応じた役割や趣味を活かした余暇を過ごし、ご家族、知人、地域との交流を大切にしながら、ご家庭での生活との環境の変化を最小限に、共同生活を送ることが出来るよう支援しています。

食事の支度や洗濯物の片付け、おやつ作り等の日常の家事、季節毎に行う梅干しや干し柿、味噌等の保存食作りなど、ご利用者の経験や能力を発揮して頂く場面が多くあります。買物やドライブ、ぶどう狩り、地域行事への参加もご利用者の楽しみです。また、音楽療法士による音楽療法は、機能訓練とともにご利用者の癒しの時間となっています。

ご利用者の尊厳を守り、お一人おひとりが安心と笑顔の中で暮らせるよう努めています。

訪問介護・居宅介護・同行援護

ホームヘルパーは笑顔と温かい言葉かけでご利用者の家庭に暮らしの風を運びます。生き活きとその方らしい生活が続けられるよう、一緒に行ない工夫する援助を目指します。介護保険では、食事・入浴・排泄・おむつ交換・更衣・外出援助等の身体介護と掃除・洗濯・調理・買い物代行等の生活援助を行います。障害者福祉サービスの居宅介護サービス（身体介護・家事援助・移動支援）や視覚障害者の同行援護サービス（外出援助）も実施しています。信頼関係を築き、ご利用者の気持ちに寄り添った援助を行なうよう努めます。



訪問介護の一場面。ご利用者と一緒楽しく洗濯物干しを行っています。

楽寿の園 デイサービスセンター



楽寿の園 デイサービスセンター

デイサービスセンター（定員30名）では、可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることが出来る様、送迎、食事、入浴などの日常生活上の支援、生活機能向上のために理学療法士等による機能訓練や歯科衛生士による口腔機能向上サービスなどを提供します。レクリエーション活動等では、ご利用者同士の楽しい交流の場となるよう創意工夫し、孤独感の解消



や心身機能回復を図ります。また日中にサービスを利用して頂くことでご家族の介護負担の軽減にもつながります。

健康寿命の延長を目的に理学療法士と転倒予防体操を行っています。

第 2 美和の家・第 3 美和の家

第 2・第 3 美和の家は、地域密着型サービスの認知症対応型通所介護事業所です。

地域密着型サービスは、認知症の方が住み慣れた地域で生活ができるよう、地域の実情に合わせて、より細やかで、柔軟なサービスを提供することができます。

通常のデイサービスとは違い、少人数ですので他の方に影響されにくく、職員が寄り添いながら、ご本人のペースでゆっくりとおだやかに過ごしていただくことができます。

入浴や排泄の介助、管理栄養士によるバランスの取れた献立の食事提供はもちろんのこと、日常生活動作の向上や認知症ケアに効果のある機能訓練や作業療法をリハビリの専門スタッフが提供するなど、認知症の方専門の手厚いサービスを提供します。

第 2 美和の家

第 2 美和の家は定員 10 名で、主に活動的な方を対象としています。ご利用者同士の交流や会話を大切に、楽しさを取り入れたレクリエーションを実施する事で、「笑って楽しんで帰って頂く」ように職員一同励んでおります。



楽しいカードゲームの一場面。多数のレクリエーションで脳の活性化を図ります。

第 3 美和の家

第 3 美和の家は定員 12 名です。歩行の出来る方、車椅子の方など、いろいろな身体状態の方々が利用されています。機械浴（寝浴）が有り、寝たきりの方も安心して入浴をして頂く事が出来ます。また、レクリエーションや日常生活のリハビリも積極的にを行い、ご利用者の残存機能の維持回復にも力を入れて取り組んでいます。



第 3 美和の家 (1F)



機械浴（寝浴）を使用することで、お身体への負担が少なく寝たままの状態に入浴することができます。



楽しいレクリエーションなどで心身の活性化、機能の維持向上を目指しています。

利用料金について

(単位：円)

要支援・要介護度	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
自己負担額 (1割の場合)	805	891	921	1,012	1,104	1,195	1,285

※入浴、送迎を施設で行った場合の 1 日の利用料金です。

自己負担額に昼食代 600 円（おやつ代込み）が加算されます。

自己負担額 2 割の場合、ショートデイサービスご利用の場合は利用料金が異なります。

詳しくはお問い合わせ下さい。

特養併設型の認知症対応型通所介護事業所です。単独型事業所よりも安くなっています。

足久保ケアサポートセンター 楽寿

デイサービスセンター 足久保らくじゅの家

地域密着型のデイサービス（定員12名）として、認知症で在宅介護を受けている方を対象に、食事、入浴、個別機能訓練等のサービスを提供します。また、園庭の散歩、頭や体を使ったレクリエーション、趣味を活かした編み物や染め物、季節に応じたおやつ作り等も実施しています。

住み慣れた場所で安心した時間を過ごして頂き、ご利用者お一人おひとりが笑顔に溢れ、生き生きとした毎日を送ることができるデイサービスを目指しています。



足久保ケアサポートセンター 楽寿



リング体操等を通じて楽しく残存機能の維持、向上を目指します。



夏祭りの様子。昔を思い出しながら太鼓の響きとともに盆踊りを楽しみました。



皆さんで大事に育てたじゃがいもの収穫（園芸療法）

利用料金について

（単位：円）

要支援・要介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
自己負担額 (1割の場合)	919	1,014	1,046	1,149	1,250	1,353	1,456

※入浴、個別機能訓練、送迎を施設で行った場合の1日の利用料金です。

自己負担額に昼食代600円（おやつ代込み）が加算されます。

自己負担額2割の場合、ショートデイサービスご利用の場合は利用料金が異なります。

詳しくはお問い合わせ下さい。

グループホーム 足久保らくじゅの家

定員9名のご利用者が家庭的な雰囲気の中で、ご家族や地域の方に支えられ、ご自分の力を発揮しながら、職員と共に生き生きとした穏やかな毎日を過ごされています。

食事の支度や居室清掃・洗濯物畳み等日々の家事手伝い、梅干し作り・味噌作り・干し柿作り等の季節毎の活動、畑での野菜作り、ドライブや外食・買い物・ぶどう狩り等の多くの外出機会があり、ご利用者の思いを大切に心触れ合う毎日です。

地域行事にも積極的に参加し、良好な交流を図ることで住み慣れた地域で安心できる暮らしを提供出来るよう努めております。



苺ジャム作り。地域で収穫された新鮮な苺をジャムにして美味しく頂きます。

静岡市葵区美和地域包括支援センター・静岡市葵区賤機地域包括支援センター

高齢者の皆さんが、住み慣れた地域でいつまでも安心して生活出来るように、介護・福祉・医療・健康など様々な面から総合的に支えるために設けられました。『社会福祉士』『主任ケアマネジャー』『保健師または看護師』3職種がお互いに連携をとりながら、様々な相談に応じます。高齢者を支え、自分らしく生活するための権利を守るため、様々な相談に迅速に対応しておりますので、いつでもご相談ください。

地域包括支援センターの概要

	担当 圏域	連絡先
静岡市葵区美和地域包括支援センター	足久保、美和、安倍口、井宮、井宮北	〒421-2115 葵区与左衛門新田 74-6 (楽寿の園高齢者総合福祉エリア内) TEL:054-296-1100 / FAX:054-296-9355 / E-mail:hokatsu_m@rakuju.or.jp
静岡市葵区賤機地域包括支援センター	梅ヶ島、大河内、玉川、松野、賤機北、賤機中、賤機南	〒420-0871 葵区昭府 2 丁目 7-17 (静岡市北部保健福祉センター前) TEL:054-251-7772 / FAX:054-251-7773 / E-mail:hokatsu_s@rakuju.or.jp

□サービス提供時間：(月～金) 8:30～17:30、(土) 8:30～12:30 休日：日曜日、祝日、年末年始(12/31～1/3)
※休日および夜間については電話で対応いたします。(24 時間連絡可能な体制をとっています)

各センターの主な活動実績

◆静岡市葵区美和地域包括支援センター (受託法人：社会福祉法人楽寿会)

主な地域活動の実施状況	<p>《地域ケア会議の開催》担当圏域の各地区の特性、ニーズ把握を目的に、地区の関係者と連携を図っています。 安倍口団地支援連携会議開催。(平成28年11月開催予定) 《山間地への個別訪問》奥長島地区へ戸別訪問し高齢者の実態把握を行う。(平成28年11月訪問予定) 《高齢者及び一般住民に向けて交流会開催》 足久保奥組地区の高齢者及び地域住民へ向け、介護予防の啓発と地域包括支援センターの紹介を行う。 (平成28年9月16日・口長島公民館 / 平成28年12月2日・奥長島公民館 / 平成28年12月16日・敷地公民館 / 平成29年1月27日・谷沢公民館で開催予定)</p>
その他の地域活動への参加状況	<ul style="list-style-type: none"> ・美和地区、北部地区の民生委員児童委員協議会定例会出席(隔月) ・足久保地区社会福祉協議会総会出席(平成28年4月) ・安倍口地区社会福祉推進協議会総会出席(平成28年5月) ・グループホームらくじゅの家、特別養護老人ホーム楽寿の園、足久保らくじゅの家、他圏域内グループホーム運営推進会議出席(隔月) ・美和地区社会福祉推進協議会主催のふれあい活動に相談コーナーを開設(平成28年6月) ・S型デイサービス参加:あべぐちサロン・ふれあいの会あしくぼ、内宮サロン、松富団地ふれあいサロン、西ヶ谷サロン ・健康交流会参加:井宮北にここ会、桜町いきいき健康交流会、美和学区健康交流会ほほえみ(毎月)、美川町健康交流会(隔月)、足久保団地健康交流会(平成28年12月6日)に参加予定 ・おしゃべりサロン参加:美原町おしゃべりサロン、美和野ていーむ(隔月)、松ぼっくり(毎月)

◆静岡市葵区賤機地域包括支援センター (受託法人：社会福祉法人楽寿会)

主な地域活動の実施状況	<p>《鯨ヶ池出張相談会の開催》 鯨ヶ池老人福祉センターにて出張相談会を実施。(平成28年4,6,10,12月) 地域包括支援センターの紹介、介護保険や高齢者全般に関する相談対応。 《介護予防講座開催》 ・口坂本地区、口仙俣、奥仙俣地区介護予防講座開催。(平成28年10月予定) ・梅ヶ島地区介護予防講座開催。(平成28年11月予定)</p>
その他の地域活動への参加状況	<ul style="list-style-type: none"> ・賤機地区、安倍地区の民生委員児童委員協議会定例会出席(隔月) ・玉川地区自治会連合会会議出席(平成28年3月) ・大河内地区社会福祉推進協議会出席(平成28年4月) ・賤機中学校区社会福祉推進協議会役員会出席(平成28年4月) ・賤機北地域福祉推進協議会総会出席(平成28年5月) ・賤機南地区社会福祉推進協議会総会出席(平成28年5月) ・梅ヶ島地区社会福祉推進協議会総会出席(平成28年7月) ・圏域内のグループホーム運営推進会議出席(随時) ・健康交流会参加(随時) ・賤機南地区社会福祉推進協議会と共催し「認知症予防とリハビリ」についての勉強会開催(平成28年8月)

◆北部地域全体(美和、賤機地域)での活動

介護と医療の連携	<p>北部地域における高齢者支援が円滑に実施出来るよう圏域の主任ケアマネジャーや医師、北部保健福祉センター、居宅介護支援事業所等と連携を図り、専門性を生かしたスムーズな支援ができるようにしています。 (北部圏域ケア会議:平成28年5月26日実施)</p>
----------	---



山間地を定期的に訪問し、高齢者及び地区の実態調査を行っています。戸別訪問では生活状況や健康状態を確認し、住み慣れた地域で安心した生活ができるよう支援しています。



S型デイサービスにて、地域包括支援センターの紹介、作業療法士による転倒予防のための体操を参加者の皆様と行いました。

楽寿の園福祉エリア居宅介護支援センター（ケアプラン作成機関）



居宅介護支援センター



相談風景

介護でお困りのご家庭に介護支援専門員（ケアマネジャー）が訪問等をして、ご利用者様、介護されるご家族のニーズを把握し、デイサービス・訪問介護・ショートステイ等の居宅サービス及び必要な保健医療サービス、福祉サービスを組み合わせ、ケアプランを作成。ご利用者、ご家族様が安心して在宅での生活を送れるよう総合的に支援をします。お気軽にお問合せ下さい。

よりよいサービスを提供するために

充実の職員研修

信頼は
私の優しい
言葉から

『言葉づかい』の自己点検に活用しています。

有馬良建理事長 著「介護・看護職のための言葉づかいチェックリスト」（医歯薬出版）は高齢者福祉の現場実践を通して提示された、言葉づかいの適正に関する評価基準が示されています。言葉づかいの適正化は、高齢者の人権擁護実践の一つとして捉え職員一人ひとりが介護現場で活用しています。



◆施設内職員研修

職員教育委員会が中心となり、毎週、施設内職員研修を実施しています。全職員を対象に外部研修の伝達研修及び各種専門分野の研修を行い、処遇の向上、職員の資質向上と施設機能の充実や向上に努めています。また、外部講師を招いての講演や研修も随時行っています。今年もこれまでに『栄養ケアマネジメント』『高齢者のための口腔ケア』『対人援助とコミュニケーション』『高齢者虐待防止法』等の講義を受けました。

◆資格取得支援プロジェクト

職員の専門職としての質の向上を図るために、一人でも多くの職員が資格を取得して、より質の高いサービスの提供に繋げることが出来るように支援しております。これまでに介護福祉士143名、介護支援専門員45名が合格しました。今年度も介護福祉士に8名、介護支援専門員に15名の職員が受験に挑戦いたします。一人でも多くの職員が合格できるように、資格取得支援プロジェクトのスタッフを中心に毎月勉強会やチェックテスト、模擬試験などを開催し受験に向けて活動しております。

◆新入職員研修

楽寿会では毎年3月に新入職員に対し、いち早く優れた職員になるべく、様々な分野の専門スタッフ、外部から招いた大学教授・講師の方々による専門性の高い新入職員研修を実施しています。今年も1週間の新入職員研修を実施し、この研修を基盤として、現在、楽寿会の各事業所で新入職員が活躍中です。



「施設、事業所における高齢者虐待防止に関する調査研究事業」ワーキング委員会委員を務めた有馬良建理事長の講義「高齢者虐待防止法について」～ケースアドボケート実践が目指すもの～



昭和大学講師 大谷佳子先生による講義「対人援助とコミュニケーション」

充実した施設での生活

敬老週間行事

9月13日～17日の敬老週間では、敬老式典、敬老茶会、喫茶らくじゅなど様々な行事で敬老のお祝いをしました。

楽寿会では、毎年9月に老人福祉法で定められている趣旨に則り、高齢者福祉についての関心と理解を深め、ご利用者に対しご自身の生活向上に努める意欲を促すための様々な敬老行事を開催しています。

日本は世界でも有数の長寿国であります。楽寿会におきましても今年度、米寿の方が21名、100歳以上の方が7名いらっしゃいました。楽寿会敬老式典では、ご利用者やご家族様、地域の代表の方などにお集まり頂きまして敬老該当者の方を盛大にお祝いさせて頂きました。

敬老茶会やのど自慢大会、喫茶らくじゅにも大勢のご利用者が参加され、普段の生活とは違った雰囲気を楽しんでいらっしゃいました。

今後とも、ご利用者の皆様健康には十分留意し、毎日を健やかに過ごして頂けるよう励んで参りたいと思っております。



コミュニティホール楽寿



敬老式典で祝辞を述べる有馬良建理事長。式典にはご利用者、ご家族様含め400名以上の方が参加して下さい、100歳以上の方、米寿の方のお祝いなどを行いました。



職員対象に月に1回、礼儀作法の教育のひとつとして茶道教室を行っています。敬老茶会として日頃の成果をご利用者にお披露目し、ご一服差し上げました。



静岡県演奏家協会の皆様より、声楽や楽器演奏を披露して頂きました。美しい歌声や音色に、音楽の素晴らしさを心から感じる機会となりました。

慰問・行事

楽寿会では、年間を通じて様々な方々が慰問に訪れます。又、季節感を味わって頂く為、季節に応じた行事を開催しています。コミュニティホール楽寿にて行う全体行事、フロア毎に行う行事、様々なレクリエーションや外出を企画して、皆様に楽しんで頂いています。



静岡女声合唱団の皆様より、素晴らしい歌声のコーラスを披露して頂きました。ご利用者の皆様は、きらびやかな衣装、美しい歌声を聴かれながら至福の時間を過ごされました。



安倍川の土手沿いに咲く美和桜を見に外出しました。桜の木の下には、菜の花も咲いており、ご利用者の皆様は心地よい風を感じながら、それぞれ春の訪れを楽しめました。



8月にはコミュニティホール楽寿で夏祭りを開催しました。盆踊りやヨーヨー、かき氷といった夏の風物詩を皆様に堪能していただきました。

介護の未来ナビゲーター

楽寿会から『介護の未来ナビゲーター』が誕生!!
職員の岡本拓洋さんが、静岡県より委嘱を受けました。



『介護の未来ナビゲーター』とは、県内の介護保険施設等に従事する若手介護職員が、介護職の魅力ややりがいを情報発信することで、介護職に対する理解を促進し、介護人材の確保を図る目的で設置されました。この度、委嘱条件として挙げられている静岡県主催の第4回介護技術コンテスト(2015)で最優秀賞を受賞した岡本拓洋さんが介護の未来ナビゲーターとして活躍することとなりました。

私が
介護の魅力を
発信します!!

岡本拓洋さん

特別養護老人ホーム楽寿の園勤務
サービス統括員兼フロアー長
(介護福祉士・社会福祉士・介護支援専門員)
静岡県第4回介護技術コンテスト(2015) 最優秀賞



職員を募集しています!!

やりがいを求め
年配の方・男性の方も
大活躍。

資格がなくても 楽寿なら大丈夫!!

資格取得支援
プロジェクトが
バックアップします!!

介護職

看護師

介護支援
専門員



お気軽にご相談・お問合せください。 担当：総務課 TEL：054-296-1111

ご利用(家族・介護者)の皆様へ

- ご入所希望の方> **楽寿の園へ** TEL：054-296-1111
- 在宅介護のご相談> **地域包括支援センターへ** TEL：054-296-1100 (美和)
TEL：054-251-7772 (賤機)
- 居宅サービスご利用の方> **居宅介護支援センターへ** TEL：054-296-5555
- ケアプラン作成希望の方>